みんなの文芸

榎本順江選　投稿数16句

臘梅を空にちりばめなぞえ村　三沢　眞下　杏子

(評)山のなぞえ(斜面)にある小さな集落、風を除け陽当たりの良い地が想像されます。咲き誇る臘梅が山間いの空を飾り、香りはやさしく集落を包んでいます。穏やかなぞえ村の様子が浮かびます。二句目、一日の締め括りに日記を書く。今日は書き留める事も少なく短め。余白は初雪の景色が埋めてくれました。三句目、平成の世を見納めるお雛様が飾られる。傍らで片言の幼い子は無邪気にはしゃぎ賑やかに楽しい雛飾り。お雛様も微笑んでいます。

初雪の景を余白に日記帳　下日野沢　浅見　豊子

顔出す土筆を除けてサクを切る　皆野　花垣　一摺

片言の嬰児(みどりご)はしゃぐ雛飾る　皆野　引間　千鶴

着膨れて芥出す朝の会釈かな　下田野　新井　節子

眠り醒め森羅万象春立ちぬ　皆野　根岸　詩子

雪原をガッコケー※1の古里之　皆野　戸塚喜久雄

満天の星の宝石梅月夜　三沢　新井　民子

東京のビル影にある春の雪　上日野沢　四方田利男

オニは外父のえりもと入る豆　皆野小六年　太幡琉美花

豆撒きて明日への希望を託しけり　三沢　新井　叶子

※1 ガッコ…いぶり大根の漬物　ケー…食べてください

短歌　全16首

年明けに妹からのプレゼント厚手のセーター喜寿の祝いに　下田野　新井　節子

あの店の鶯餅が食べたくて食べさせたくて自動車(くるま)走らす　皆野　引間　万亀

作らねど読むのは好きと言う人と俳句談義や日溜まりの縁　三沢　眞下　杏子

かけ声の大きさ歳と反比例オニは外福は内豆打つ　皆野小六年　太幡琉美花

明けの空凍す風痛し背を丸め厚岸原野にエゾ鹿を追う　皆野　戸塚喜久雄

何もない山里住んで東京の五輪の工事ニュース見てをり　上日野沢　四方田利男

恐ろしき父の虐待助けてと願ひ空しき少女に泣けり　下日野沢　浅見　豊子

夜の畑に猪・鹿の怪し声何ぞ集うか土産残せし　国神　藤原マキ子

娘(こ)と母の命奪いし嬲(なぶ)り悲し学校社会問題嘆く　皆野　根岸　詩子

火の海の三月十日戦災地兵役の我入り忘れじと　皆野　関根　助市

具沢山のけんちん汁をもてなされ元朝護摩の二十三夜寺　三沢　新井　民子

「何故ひとりぼっちの生活(くらし)してるのよ」自問自答の日々に過ぎゆく　三沢　新井　叶子

床の間に正月生けし臘梅の蕾み綻び薫り漂う　皆野　村田ハツ代

初日の出平穏無事赤々と平成の次の世は何になる　下日野沢　新井　進

積雪の予報の夜の明け方に月に寄り添ふ明星のあり　皆野　打木　昭広

今まさに百寿の姑はあの世へと意識は遠くなり近くなり　三沢　鈴木　貞恵

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記してみらい創造課までお寄せください。

4日必着

1人1句、1首に限ります。

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

4月号の締め切りは、3月11日(月)です。

問合せ　みらい創造課　☎26-7334

1歳のお誕生日おめでとう

梨生(りお)くん
中大浜区
楮本　岳士さん
綾さん

笑顔が可愛いりおくん！
すくすく優しい子に育ってね☆

今月の題字

三沢小3年
横田　眞妃菜(まひな)さん

児童の見守り放送

三沢小5年
横田　來羽珠(くるす)さん